

第9回（平成18年度第3回）
かごしままちづくり会議会次第

○日時：平成18年10月6日（金）14時00分～

○場所：鹿児島市民福祉プラザ5階中会議室

1 開 会

2 報 告

- (1) 第8回（平成18年度第2回）かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について
- (2) 第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況について（全市的な事項）
- (3) 第9回（平成18年度第3回）地域まちづくり会議等について

3 協 議

- (1) テーマ協議
 - （主）商工業、交通ネットワーク
 - （副）観光・コンベンション、農林水産業
- (2) その他協議

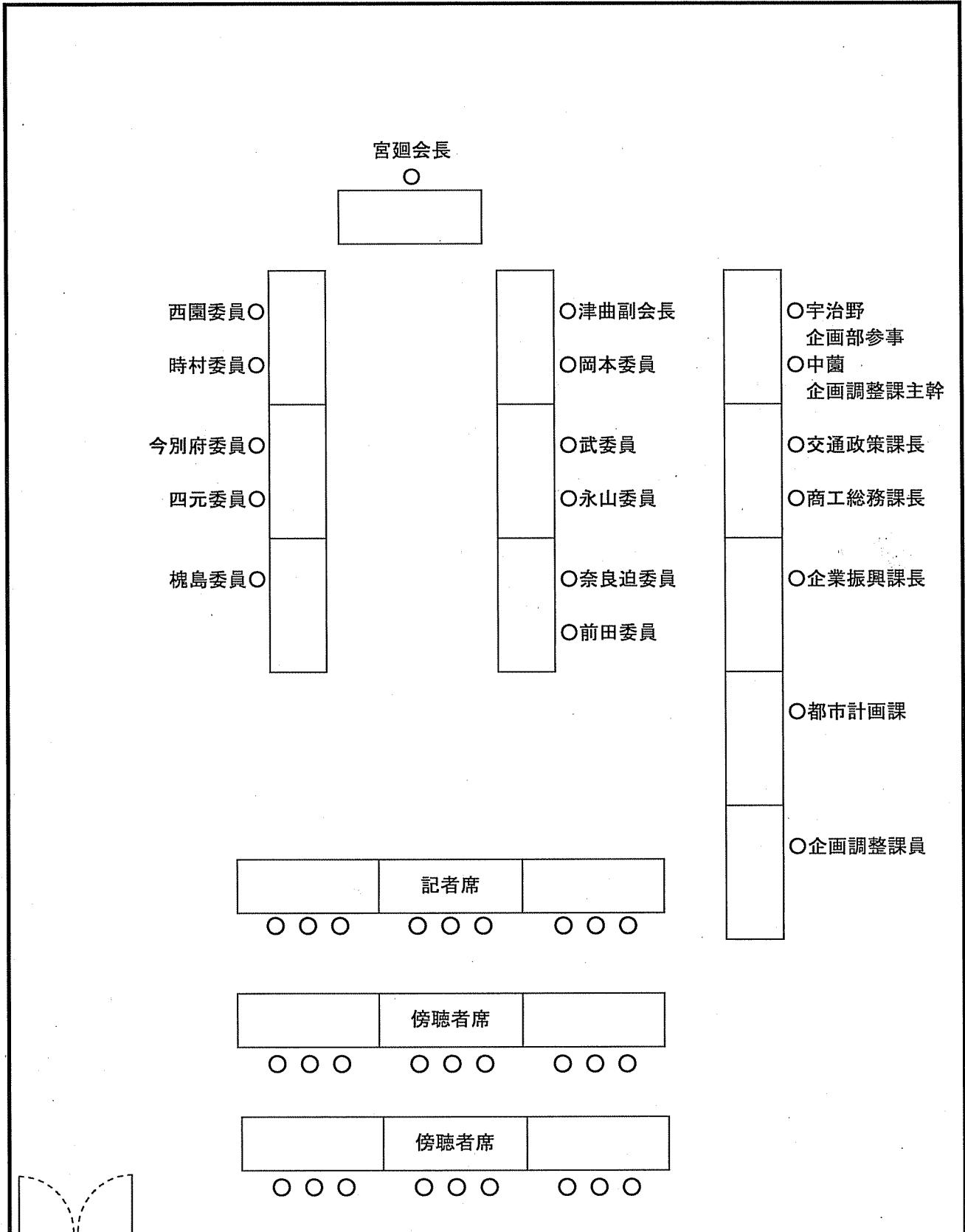
4 かごしま都市マスタープラン見直し素案の骨子について

5 閉 会

第9回（平成18年度第3回） かごしままちづくり会議座席図

○日時：平成18年10月6日（金） 14：00～

○場所：鹿児島市民福祉プラザ5階中会議室



かごしままちづくり会議委員名簿

(平成18年5月23日現在)

職 名 等	氏 名	摘 要
鹿児島大学法文学部教授	宮 廻 甫 允	会長
日本ガス株式会社専務取締役	津 曲 貞 利	副会長
吉田地域まちづくり会議会長	西 園 登	
桜島地域まちづくり会議会長	時 村 悟	
喜入地域まちづくり会議会長	今別府 健 司	
松元地域まちづくり会議会長	四 元 泰 盛	
郡山地域まちづくり会議会長	槐 島 諭	
株式会社山形屋代表取締役会長	岩 元 純 吉	
鹿児島市衛生組織連合会会長	岡 本 阜 八	
鹿児島市生活研究グループ	武 千世子	
NPO法人地域サポートよしのねぎぼうず理事長	永 山 恵 子	
鹿児島市教育委員	奈良迫 ミチ子	
南日本出版株式会社取締役	西 みやび	
公募委員	前 田 真 理	
公募委員	山 本 敬 生	

第9回(平成18年度第3回)かごしままちづくり会議資料

	ページ
1. 第8回(平成18年度第2回)かごしままちづくり会議における意見等の検討状況	1～5
2. 第8回(平成18年度第2回)地域まちづくり会議等における意見等の検討状況 (全市的な事項)	6～12
3. 第9回(平成18年度第3回)地域まちづくり会議等について	13～19

第8回(平成18年度第2回)
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	吉野に新しくできる高齢者福祉センターについて、利用者を高齢者に限定せず柔軟な利用ができるように検討してほしい。条例改正も踏まえた弾力的な対応ができないか。	2	健康福祉局	高齢者福祉センターは、高齢者相互のふれあいと交流を図り、生きがいと健康づくりを支援し、そのことによって高齢者の福祉を増進することを目的とした施設で、国の要綱に基づき設置している。 このようなことから本市では、高齢者専用の施設として位置付け、利用者を高齢者に限定しているもので、ご理解い ただきたい。 ※新市まちづくり計画 Vまちづくり計画/安心健康都市	3
2	旧郡山町で行っていた福祉アドバイザー制度のような良い制度は、市が取り入れてもいいのではないか。	2	健康福祉局	福祉アドバイザーの行っていた一人暮らし高齢者等に対する声かけ等についてはともびグループで対応できると考えているが、自治会等での独自の取り組みについては是非継続しておこなっていただきたい。 今後、保健福祉計画の策定等の参考とさせていただきます。	1

第8回（平成18年度第2回）
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
3	<p>子ども安全対策について、行政の縦割りでいるろんな組織を作り過ぎて地域では重複していることが多すぎると感じる。地域に様々な組織やシステム（例えば「子ども110番」、「スクールガード」、「スクールゾーン委員会」、「安全協議会」、「安全連転管理協議会」など）があるが、やっっていることはほとんど同じで、各組織間の横の連携が取りにくい。またボランティアでそのようなことに協力していきたくても、どこに相談すればよいか分からないのが現状である。これらの組織を統括する組織なり窓口が必要ではないか。</p>	2	市民局	<p>子ども安全対策については、地域住民と学校、警察などの関係機関、行政がお互いに連携して取り組むことが重要であると考えている。</p> <p>このようなことから、防犯パトロール隊の育成、支援や、公用車に青色回転灯を装備してのパトロールの実施、安心安全研修会の開催など、子どもを含めた地域の安全対策に取り組んでいるところである。</p> <p>一方、様々な形で子どもの安全に関する自主的な活動が拡大することは、大変望ましいことと考えているが、これらの活動が相互に連携する中で、地域が一体となって安全確保に取り組まれるよう努めてまいりたい。</p>	1
		2	教育委員会	<p>子ども安全対策のために、地域住民と学校、警察、行政が、互いに連携して取り組むことは、非常に大切なことだと認識している。</p> <p>「スクールガード」などのボランティア団体の自主的な活動が、学校や地域の安全のために拡充することは大変望ましいことだと考えている。これらの活動が、関係機関・団体等と連携する中で、地域が一体となった安全対策に拡充するよう、今後、取り組んでまいりたい。</p>	2

第8回（平成18年度第2回）
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
4	地方で農業をしたいと考えている退職者に向けて、休耕地の活用をPRしてほしい。	2	経済局	農林水産部内に新規就農相談所を設置し、常時相談に対応しているところである。 また、就農にあたっては農業委員会と連携を図り、休耕地を含めた農地の斡旋に努めてまいりたい。	1
5	耕作放棄地が増加している中で、営農をシステム化して、高齢者だけの農家や後継者がいない農家を支援できないか。	2	経済局	地域ぐるみで農業の維持発展を図る集落営農システムが有効な手段であると考えることから、現在本市では、話し合い活動による情報収集やリーダーの育成に努めるとともに、県単事業の水田農業生産条件整備事業による受託組合への農業機械の導入などによる集落営農の推進を図っている。	1
6	身近すぎてその良さに気付いていない多賀山公園、花尾神社やスパランド裸・楽・良などを見つめ直してピックアップし、観光ツアーのルートを作れないか。	2	経済局	今後、かごしま観光プログラム作成事業において、地域資源を発掘するとともに、既存の観光資源とあわせて、まち歩きを楽しめる新たな観光プログラム（モデルコース）を作成することとしているので、その中で検討してまいりたい。	2

第8回（平成18年度第2回）
かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
7	鹿児島の玄関口である鹿児島中央駅に、もう少し鹿児島らしさを感じられるシンボリックなものを整備してほしい。	2	経済局 建設局	関係機関と協議してまいりたい。 鹿児島中央駅東口駅前広場は、17名の薩摩英国留学生たちの「若き薩摩の群像」を核として、鹿児島から世界へ広がる海をイメージしてデザインされている。また、広場の植栽は、市木である「クスノキ」をシンボルツリーとして、四季を彩る草花とともに、鹿児島の季節感を演出している。 西口駅前広場には、海に囲まれ、桜島が噴煙を上げる鹿児島の自然をイメージし、力強いエネルギーの炎と、安らぎを与える水をテーマにデザインされ、鹿児島の伝統工芸である薩摩切子をモチーフとした「切子燈」を設置している。 このように、新幹線一部開業に向け、南の交流拠点都市・鹿児島にふさわしい、陸の玄関として整備してきたところである。	2
8	地産地消の推進のため、商品に生産者の表示を行う働きかけをスパーパーなどに指導できないか。	2	経済局	生鮮食料品については、JAS法で「名称」及び「原産地」表示は義務付けられているが、生産者表示は義務付けられていない。現在、青果市場に入荷している市内産軟弱野菜や県内産野菜のうち、通いコンテナを利用しているものについては、カードによる生産者名等の表示が行われ、スパーパー等で活用されている。今後、関係団体等とも連携をとりながら、通いコンテナの利用推進を関係業界へ働きかけてまいりたい。	5

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	吉田	台風時は、住民の申し出で避難所を設置するようになっているが、行政が早めに設置し、避難指示を住民へ出してほしい。	2	市民局	自主避難をされる場合には、事前に市へ連絡していただいているが、行政の判断で避難準備、避難勧告及び避難指示等の広報を実施する際には、それに合わせて市指定の避難所を開設している。 なお、自主避難される際には、おおむね1時間程前に地域福祉課へご連絡下さるよう、ご協力をお願いしたい。	1
2	吉田	お達者クラブの弁当代が2000円から4000円に値上がりすると聞いている。急激な値上げはお年寄りには負担が大きい。	2	健康福祉局	介護保険制度の改正に伴い現在介護保険のデイサービス等の利用者は食料費と調理費の実費を負担しているが、愛のふれあい会食の弁当もデイサービス等の利用者と同じものを提供しながら負担は200円となっている。このようなことから介護保険制度にあわせて実費相当の400円を負担していただくこととした。	3
3	吉田	高齢者福祉バスがあるが、希望者が多く利用できない。台数は増やせないものか。	2	健康福祉局	高齢者福祉バスは合併前は1台であったが、現在は旧郡山町及び旧喜入町の2台のバスと旧鹿兒島市分と合わせて3台を利用していただいている。利用は抽選により決定しているが、利用申込のない日については随時申し込みにより利用が可能であるので、利用状況について聞いていただきたい。	3

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
4	吉田	産業廃棄物処分場は、許可時点における状況と現況が違っているところはないものか。雨天時など汚水が流出する所などないものか。現地調査を行って指導を徹底してもらいたい。	2	環境局	産業廃棄物処分場については、随時の立入調査を行い、廃棄物処理法に基づいた施設の稼働状況及びマニフェスト交付状況、帳簿等の検査を実施しているところである。また、雨天時に汚水の流失がないように指導しているところであり、今後施設への立入調査を行い指導を行っていきたい。	1
5	桜島	地域資源を活用するために一番重要なのは人材だと考える。案内する人、ボランティアを集めるコーディネーター、企画をする人など、人の活用や育成を鹿児島市も推進してほしい。NPO法人桜島ミュージアムとしても、人材の育成に力を入れていきたい。	2	経済局	桜島観光振興プランの中で検討してまいりたい。	2

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
6	松元	道路路肩や公園など犬の糞の放置状態が多く、飼い主のマナーについて、何らかの新しい対策等で啓発する必要がある。	2	健康福祉局	<ul style="list-style-type: none"> ・ふんの放置等の防止については、従来より、 ・狂犬病予防注射時に犬のしつけ、飼い方用リーフレットの配布 ・「市民のひろば」等の広報紙、ホームページへ啓発文の掲載 ・広報車による広報 ・犬のしつけ、飼い方教室の開催 ・町内会等への啓発チラシの配布 ・ふん放置禁止の看板の配布 ・苦情が寄せられたときの飼い主への直接指導 等を行い、犬の飼養者のマナーやモラルの向上を図っている。今後あらゆる機会を捉えて、飼い犬のふんの適正処理等の指導、啓発を行ない、飼養上のマナーやモラルの向上を図ってまいりたい。	1
				環境局	飼い犬のふんの放置等の防止については、現在、まち美化推進指導員により市内全域における巡回パトロールを週4日（土日含む）実施し、指導にあたっている。 また、昨年8月よりポイ捨てや飼い犬のふんの放置多発地区について、市内の全町内会を対象に一斉調査を実施し、調査結果を基に指導員を現場に派遣し、調査指導を行っている。 なお、条例の趣旨に基づき、「自分たちのまちは自分たちの手で美しくしたい」と自発的に考えておられる市民の皆さんを地域指導員に任命し、行政と連携しながら地域で条例違反者などに対する指導業務を行う「まち美化地域指導員」制度の創設を今年度中に予定している。	1

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
8	郡山	福祉アドバイザー制度（＝独居老人の見守り活動）についての要望に対し、市は「ともしびグループで対応可」との見解を示しているが、ともしびグループは年々減少しているようである。旧郡山町にあった制度は、自治会単位で活動がなされ、非常にうまく機能していたように思う。合併以降も地域内の一部自治会が継続して取り組んでいる同制度を鹿児島市全域に広めるとともに、新しい保健福祉計画を作る際にも是非、参考にしていただきたい。	2	健康福祉局	福祉アドバイザーの行っていた一人暮らし高齢者等に対する声かけ等についてはともしびグループで対応できると考えているが、自治会等での独自の取り組みについては是非継続しておこなっていただきたい。なお保健福祉計画については本年3月に20年度までの計画を策定したところであるので次回の計画策定の際にご意見をいただきたい。 ※合併協定項目 (27)高齢者福祉事業/22心をつなぐともしびグループ活動推進事業 合併する年度の翌年度に鹿児島市の制度に統合する。合併する年度は現行どおりとする。	3

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
9	郡山	子ども安全対策について、行政の縦割りしている地域では重複している組織が多すぎると感じる。地域に様々な組織やシステム（例えば「子ども110番」、「スクールガード」、「安全運動管理協議会」など）があるが、やっていることはほとんど同じで、各組織間の横の連携が取りにくい。またボランティアでそのようなことには協力していきたくても、どこに相談すればよいか分からないのが現状である。これらの組織を統括する組織なり窓口が必要ではないか。	2	市民局	子ども安全対策につきましては、地域住民と学校、警察などの関係機関、行政がお互いに連携して取り組むことが重要であると考えている。 本市といたしましては、防犯パトロール隊の育成・支援や、公用車に青色回転灯を装備してのパトロールの実施、安心安全研修会の開催など、県警や学校等と連携を図りながら子どもを含めた地域の安全対策に取り組んでいるところである。 一方、様々な形で子ども安全に関する自主的な活動が拡大することは、大変望ましいことと考えているが、これらの活動が相互に連携する中で、地域が一体となって安全確保に取り組まれるよう努めてまいりたい。	1
				教育委員会	子ども安全対策のために、地域住民と学校、警察、行政が、互いに連携して取り組むことは、非常に大切なことだと認識している。 「スクールガード」などのボランティア団体の自主的な活動が、学校や地域の安全のために拡充することは大変望ましいことだと考えている。これらの活動が、関係機関・団体等と連携する中で、地域が一体となった安全対策に拡充するよう、今後、取り組んでまいりたい。	2

第8回（平成18年度第2回）地域まちづくり会議等における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	会議名	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
10	郡山	自治会活動について、各面からの情報提供や助言を含めた研修会等の機会を設けていただきたい。また、自治会での取り組みや成功・先進事例の紹介など情報提供していただきたい。	2	市民局	市では、町内会役員等を対象に関係課による各種補助事業の説明等を行う「コミュニティ研修会」、人材育成を目的とした「コミュニティ活動推進講座」の他、町内会活動の事例や課題・問題点等をお互いに意見交換する「コミュニティ交流会」等を開催し、コミュニティ活動に関する情報提供等を行っているところである。今後とも機会を捉え、情報提供に努めてまいりたい。 ※新市まちづくり計画 2個性創造都市／(8)コミュニティ／①コミュニティ ／35ページ	1
11	郡山	「不用品譲ります。譲ってください。」といったよような掲示板を校区公民館など人の集まる公共的な場所に設置できないか。	2	市民局	消費生活センターでは、「テレフォンバザー」(電話による不用品の情報提供)を行っている。不用品を「譲ります。」「求めます。」「といった情報を登録し、お互いで不用品の譲渡をしていただき、資源の再利用を促すものである。支所や地域公民館等の掲示板等には、この事業の案内を掲出するので、ご活用いただきたい。なお、最新の不用品情報については、市のホームページに掲載することとしている。	1
12	郡山	国が集落営農の政策を打ち出しているが、面積規模等の認可要件に当てはまらないものに対する市独自の施策をお願いできないか。	2	経済局	話し合い活動による情報収集やリーダーの育成に努めると共に、県単事業の水田生産条件整備事業による受託組合への農業機械の導入など、集落営農の推進を図っている。	1

平成18年度第3回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	根島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
23	平成5年災害では被害箇所を行政に復旧してもらったが、豪雨や台風の後など復旧現場も見たい。				自分が農業大学校時代に農家で実習を受けた経験を踏まえて、市内の子を受け入れ、養育させながら体験実習をしたことがある。子どもも地域を受け入れる場合に、必ずしも郡山と思われる場合が十分でない面がある。一番困るのは、トイシレや交通手段である。交流は大事だし、おおいにやりたいという気持ちはあるが、そういう解決すべき課題もある。
24					地域でも伝統や文化に対する熱意や関心が薄れつつあり、これらが大切で、これらを守ることが大切である。郷土芸能を醸成する必要がある。後継者の確保については、どの団体も後継者連合会から文化財指定の団体に補助金が出ることとなつたこととは一つ一つの取組みとして喜ばしいことである。
25					郡山地域の自然、歴史、文化等の地域資源の養育をまず、地域住民自身が再認識する必要があるのではないか。
26					郡山産交流促進財団は、スパランに課税負担を管理するために作った財団であると思う。そういう背景を踏まえた場合、一律に指定管理費制度を導入する必要があるのではないか。